



長野県松川高等学校

令和5年度 松川高校の重点的教育活動の取り組み(4月～11月)

今年度の重点目標5項目(①～⑤)に関する具体的な取り組みを、各項目につき数点示しました。

重点目標(中長期的目標)

自立的な規範意識を育み、確かな学力を養うとともに、豊かな心と生きる力を備えた生徒を育成する。

①生徒が個人として尊重される、安心・安全で活力ある学校生活を保障する に関わる取り組みとして

I：陸上競技では北信越高校総体に出場し、野球、弓道、バドミントン、テニス、空手等の種目では県大会に出場するなど、多くの体育系クラブが活躍した。一方、文化部では、ボランティア部が4年ぶりに東北の被災地を訪れるとともに、例年通り花を送る活動が続け、「満蒙開拓平和記念館」で高校生展示ガイドをしたり、松川町内で子ども食堂の活動支援を行ったりしている。これら以外の文化部も、吹奏楽部、書道部、美術部など、地域との交流を積極的に行い活動している。また、生徒会では、松川町内の保育所に花を届ける活動を行うとともに、生徒自ら制定した「スマホルール」の見直しも含め、全校ディスカッションを行うなど、精力的な活動を行った。また、松川町内の商店街活性化に向けた取り組みの検討を進めている。

II：災害や列車の運行変更等の緊急連絡を生徒・保護者へ届けるために「安否確認・連絡網システム オクレンジャー」を運用した。また、統合型校務支援システムにより、職員間の密な連携・確実かつ迅速な情報の共有化を図っている。

②基礎学力の定着と、探究的学力の伸長を図る授業づくりをすすめる に関わる取り組みとして

I：入学時より、英語ではマナトレを導入し、小中学校でつまづいた部分を「学び直し」することによって基礎学力の定着を図っている。また、「基礎力診断テスト」を実施することで、進学者の学力向上はもちろん、就職希望者にも基礎学力の重要性について意識を高めることができた。さらに、各教科でキャリア教育の視点を意識した授業改革に努めたり、総合的な探究の時間やロングホームルームを利用してよりよい進路実現に向けて学習や説明会等を行った。今後、1学年キャリアデイのまとめとして「総合的な探究の時間」でグーグルスライドを使用した発表をおこなうことになっている。更に、3年生の就職・進学者に対しては、試験前には受験対策、進路決定者には卒業後の学力保障のための個別補習を実施している。

II：3年課題探究エリア「環境緑化」では、地元の農家の方の協力のもと、穀物(ジャガイモ、トウモロコシ、サツマイモ、落花生、そば)と野菜(トマト、ナス、カボチャ、ピーマン、大根、白菜、小松菜、オクラ、ほうれん草)を栽培・収穫し調理した。夏の天候不順により収穫できなかったものもあったが、作物を育てることの面白さや難しさを通して、食に対する意識を向上させられた。1月には収穫したそばを使って”そば打ち”を行う予定である。

III：3年課題探究エリア「食文化」では、調理実習の実施方法を工夫して学習内容の充実を図っている。3年課題探究・商業経済エリア「歴史探究」では、歴史について考えることを重視し、時代ごとに講義や調べ学習を行いながら、生徒の主体性をのばす授業を行っている。さまざまな媒体を使用しながら情報活用能力等を養うとともに、発表やふりかえりも行いながら、探究学習を行っている。2年共通の「歴史総合」では、講義内容からさらに発展した課題に個人やグループで取り組み、歴史を学ぶ意義について1年間を通して考える。歴史の重なりを意識しながら、次年度の探究学習へつなげる基礎定着も目標としている。3年人文科学、自然科学エリアの必修「英語探究」では、既習の文法をベースに文章の内容を理解し、構文の基礎的な知識の定着を図っている。またALTとのTTを通して、リスニング力や自己表現力の向上も目指している。

IV:ビジネス計算検定、簿記検定、ワープロ検定、情報処理検定、英語検定、漢字検定などの資格取得に多くの合格者を出すことができた。「食文化」では、家庭科食物調理技術検定4級を実施した。
V:9月に「匿名性を担保した授業中間評価アンケート(生徒・職員)」を実施。各授業の評価と生徒自身の授業に対する取り組みについて全校生徒対象に実施し、授業担当者は授業を振り返る機会とし、教科会等で授業改善について検討し、改善に努めるとともに、生徒も自分の授業への取り組みを見つめ直す機会としている。
③生徒の個性と能力を伸ばさせるキャリア教育と進路指導を実践する に関わる取り組みとして
I:各学年で進路ガイダンスを実施し、3学年は進路実現に向けた実践力を養成し、1・2学年は自らの進路を考える機会を提供した。
II:1学年生徒は進路希望別に大学・短大・専門学校あるいは地元企業の見学をし、2学年生徒は職場体験を行い、今後の進路選択・進路実現のための考察の機会を得た。
III:学力向上に向けて、休業中や放課後の補習授業や個別指導及び模擬試験を計画、実施した。
IV:各学年の進路ガイダンスにおいて、外部講師による生徒向け講習を実施し、将来の職業選択についての理解・関心を深めるとともに、職業観や人生設計を考察する機会を提供した。
V:3学年の進路指導に関しては、ハローワークはじめ各種行政機関、各種進路指導外郭団体と連携し、生徒一人ひとりに対する細心かつ綿密な指導を展開してきた。
④生徒の主体的な活動を支え、自己肯定感を高め、生きる力を育む に関わる取り組みとして
I:生徒会では4年前に作成した「松高スマホルール3か条」を引き継ぎ活動してきた。全校ディスカッションについては、1回目は「松川高校の良いところ、悪いところ」について、2回目は1回目に出た意見から自分たちの課題点について話し合った。“身だしなみ”や“授業に向かう姿勢”、“私物の管理”といった課題はなぜあるのか、など根本的な部分を考えることで、自身を振り返るきっかけとなった。また、各委員会活動も、松川高生が自分たちでよりよい学校生活を送るために、考え実行できるようにしていきたいと考えている。
II:今年度も昨年度に引き続き、①松川町役場に花を植える活動 ②松川町の保育園に花を届ける活動 ③松川高校に花を植える活動の3点を実施することができた。多くの方のご協力をいただきながら、松川町内を中心に、花を通じて様々な方と交流することができた。来年度も引き続き、松川町を花で溢れさせるような活動を軸にし、現在の状況を鑑みつつ主体的な活動にしたいと考えている。
III:文化祭は雨の影響がありながらも6月30日、7月1、2日に行った。4年ぶりに招待制での一般公開を実施した。文化部の展示やステージ発表の他に、クラス・学年・生徒会展や販売、体育館ステージにて様々な企画を行うことができた。各会場の換気や手指の消毒の推奨、状況に応じて冷房完備の教室をリモート会場や休憩室として活用し、感染症・熱中症対策を講じた。準備から本番に至るまで、生徒達は様々な障壁に対してあらゆる手立てを考え、実行することで、後夜祭での打ち上げ花火まで無事やり遂げることができた。この課題解決の経験を通して「生きる力」を身につけることができたと考えている。
IV:1学期の「全校憲法学習」では、1、2年生は成人年齢が18歳に引き下げられたことによって変更される義務について学び、3年生は憲法に保障されている労働者の権利について学んだ。また、2学期の人権学習では映画を通してハンセン病患者について学び、平和学習においてはコロナ禍が過ぎた後のアジア人差別についてグループディスカッションを通して自己の意見、考えの確立する機会の設けた。

V:「中学生の体験入学」(7/27 木)では、生徒会役員が全体会進行をはじめとして、例年のように準備・受付・案内を行うとともに、パワーポイントを使って学校生活の説明を行った。また、各エリア代表の3年生4名がエリアの説明と進路学習の体験談を発表。本校の魅力が伝わるよう生徒会が中心となり活躍する姿が見られた。参加した中学生からは、「生徒が中心となって高校生活をわかりやすく説明してくれた。」とのアンケート回答が多数寄せられた。

VI:職員によるJR乗車指導・駅におけるマナー指導及び文化祭準備期間および後夜祭後の下校指導を実施した。

⑤地域に開かれた学校づくりを進め、社会に貢献できる生徒を育成する に関わる取り組みとして

I:本校ホームページにおいて、「フルーツバスケットミニ」(学校生活ニュース)を発行し、学校行事や生徒の日々の活躍の姿を生きた情報として発信した。また、中学生向けに「フルーツバスケット」(活動インフォメーション)を年3回発行し、近隣の地域へも配布した。「学校要覧」の内容充実を図るなど開かれた学校づくりにつとめた。

II:環境整備事業(6/24)の実施、松高祭(7/2・3)への協力、強歩大会(10/6)の支援を多くの保護者の協力を得て、実施した。ブロック懇談会・親睦旅行は本年度は中止、および来年度より廃止が決定された。また、来年度より厚生部の廃止も決定した。

III:

【生徒会】昨年度に引き続き、松川町内の全保育園へ花を植えたプランターを届ける活動を行った。全ての保育園ではないが生徒会役員と保育園児との花植えを含めた交流の時間を取ることができた。また、例年行っている松川町役場花壇の花植え作業は、生徒会役員を中心に実施することができた。

【ボランティア部】12 年目となる東北支援継続活動「花という笑顔を東北へ」は、松川町民の皆様の協力を得ながら今年度も実施し、東北各地へパチュニアなどの苗を送付した。また、町内の小中学校、役場、公民館、社協などで町民の方々と一緒に苗を植えることができた。また、東北被災地訪問を4年ぶりに復活させ、東日本大震災について学ぶと共に、被災地の方との交流を深めた。「満蒙開拓平和記念館」ではコロナ禍での制限を受けるなかでも活動を継続してきたが、今年度制限が緩和され、高校生展示ガイドの回数を増やすことができた。またその活動は、報道機関の取材を受ける等、地域の方々にも注目された。その他の活動として、松川町内のりんご農家へのボランティアや「子ども食堂 Hug」での学習支援やフードドライブボランティアの参加を行った。

【野球部】9月19日(火)松川町大島保育園の運動会を前に、1・2年生男子部員が園庭整備に協力した。

【吹奏楽部】4年ぶりに「松川町音楽祭」に出演し、少人数ながら息の合った演奏を披露することができた。

IV:4月・6月・10 月・11 月の「授業公開」は、ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響で予定通り行えずに来たが、今年は予定通り4回公開した。そのうち11/30 は、中学3年生とその保護者・中学校教職員対象の「進路相談会」として実施し、授業参観・入学者選抜の説明・部活動見学等で、志望校決定に際して本校をさらに知っていただく機会とした。

V:県立高校全校で実施している「匿名性を担保した学校評価」では、生徒・保護者・学校評議員・職員を対象にアンケートを実施した。これらの結果を基に学校評価および次年度の学校目標の設定を行っていく。アンケートについてはSNS(オクレンジャー)やグーグルクラスルームを利用し、スマートフォン・タブレット等で回答できるようにし、多くの方々に答えていただけるように努力している。